

令和3年度 近畿高等学校体育大会
第54回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会実施要項

- 1 主催 近畿高等学校体育連盟 京都府・京都市教育委員会 近畿陸上競技協会
 - 2 共催 京都府・京都市 京都府・京都市教育委員会
 - 3 主管 京都府高等学校体育連盟陸上競技専門部 京都陸上競技協会
 - 4 期日 令和3年9月17日(金)・18日(土)・19日(日)
 - 5 場所 たけびしスタジアム京都 〒615-0864 京都市西京極新明町29 TEL 075-313-9131
 - 6 種目 男子の部(20種目)
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mJH 400mH 3000mSC 5000mW 4×100m 4×400m
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投
女子の部(19種目)
100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mYH 400mH 5000mW 4×100m 4×400m
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投
 - 7 参加資格
 - (1) 競技者は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
 - (2) 競技者は、府県高等学校体育連盟に加入している高等学校の生徒で、府県陸上競技協会を経て日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。
 - (3) 年齢制限
出場者は、令和4年3月卒業予定者を除く第1学年・第2学年であること。ただし、定時制・通信制課程の第1学年及び第2学年は第1学年の部へ、第3学年は第2学年の部へ参加することができる。ただし、同一学年での出場は一回限りとする。
 - (4) チームを編成する場合は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。
ただし、一家転住等やむを得ない場合は府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
 - (6) 出場する競技者は、予め健康診断を受け、在籍する学校の校長の承認を得る。
 - (7) 参加資格の特例
ア 上記(1)(2)の定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、府県高等学校体育連盟が推薦した生徒については、別途定める規定に従い大会参加を認める。
イ 上記(3)のただし書きについて、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。
- 「大会参加資格の別途に定める規定」
- 1 学校教育法第72条、115条、第124条及び第134条の学校に在籍し、府県高等学校体育連盟の大会参加を認められた生徒であること。
 - 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
ア 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、尊重すること。
イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限とともに高等学校と一致していること。
また、連携校の生徒による混成は認めない。
ウ 各学校にあっては、府県高等学校体育連盟の予選会の出場が認められ、近畿大会への出場条件が満たされていること。
エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、部活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際して守るべき条件
ア 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険等に加入しておくなど、万全の事故対策を講じること。
イ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- 8 参加制限
 - (1) 各学年とも1校1種目2名以内とし、同一人2種目以内(リレーを除く)とする。
ただし、リレーは学年を問わず、1校1チームとする。
 - (2) 出場者は、府県予選会の各学年、各種目3位までとする。
ただし、リレー種目は、学年を問わず上位6位までとする。
尚、走高跳・棒高跳は、3位までの3名とする。
 - (3) 上位競技会出場のため、府県予選会に出場できなかった者で、本大会出場を希望する者には、近畿高体連陸上競技部の定める申し合わせ事項に従い、本大会の出場資格を与える。従って、その種目に限り増員を認める(推薦理由を明示すること)。

【外国人留学生についての制限】

- 1 男女とも1校4名以内、各学年2名以内、1種目1校1名の出場とする。(リレーは1チームにつき1名のみとする)。
 - 2 リレーに出場する場合には、個人種目と合わせて男女とも1校最大4種目とする。
- 9 競技規則 本大会は、2021年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
- 10 競技方法 (1) 各学年男女別の学校対抗とする。
(2) 男女リレー種目は、学年を問わない。
(3) 男女別の学年合計得点によって順位を決定する。
種目の得点は、1位8点…8位1点とする。リレーの得点は総合の部のみ加算する。
- 11 表彰 (1) 男女とも総合成績・学年別成績第3位まで表彰する。
(2) 男女別各学年第3位まで表彰する。(リレーは6位まで)。
(3) 男女別・学年別優秀選手を表彰する。
(4) 男女別総合優勝校の監督を表彰する。
- 12 申込方法 (1) 下記所定の用紙に必要事項を記載し、各府県高等学校体育連盟陸上競技専門部でまとめて申し込むこと。
☆申込書類 府県別参加校 学年別選手・役員一覧表(様式1)
*記録の記入は、今季最高公認記録を記入すること。
☆添付書類 ア 学校長押印の出場認知証明書(様式2)
イ 府県予選会結果報告書(様式3)
ウ 協力審判員名簿(様式4)
エ 府県予選会男女別成績一覧表
オ 府県大会の予選からの全記録とプログラム1部
(2) 申込期日 8月24日(火) データーズ切 8月26日(木) 書類べ切
(3) 申込場所 〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町1
京都市立西京高等学校 渡邊 為彦 宛
TEL 075-841-0010 FAX 075-822-5702
- 13 参加料 一人 2,000円
- 14 宿泊 (1) 宿泊の斡旋を希望する学校は、学校別宿泊申込書に必要事項を記入し、8月26日(木)までに、下記あてFAX送信すること。
宿泊決定の連絡は、業者が行う。詳細は別紙参照。
東武トップツアーズ株式会社 京都支店 宛
宿泊申し込みTEL075-361-7866 京都支店TEL 075-361-0991 FAX 075-361-7866
(2) 昼食弁当についても、900円(消費税込+飲み物)で斡旋する。
- 15 その他 (1) ナンバーカードは各府県別に下記により作成すること。(男子黒字、女子赤字)。
滋賀 1~99(601~) 京都 101~199(701~) 大阪 201~299(801~)
兵庫 301~399(901~) 奈良 401~499(1001~) 和歌山 501~599(1101~)
(2) 諸会議(場所: たけびしスタジアム京都(西京極総合運動公園陸上競技場)1F会議室)
競技委員会 9月16日(木) 13時00分
委員長会議 9月16日(木) 14時00分
競技力向上委員会 9月16日(木) 15時00分
研修委員会 9月16日(木) 15時00分
記録委員会 9月16日(木) 15時00分
監督会議 9月16日(木) 16時00分
(3) 近畿高等学校体育連盟陸上競技部の申し合わせ事項により各府県毎日3名の協力審判員を出すこと。
(4) 棒高跳用のポールは各校で責任を持って輸送すること。
(5) スパイクシューズのピンの長さは、全天候用で9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。
(6) 競技中の事故については、主催者で応急処置はするが、以降の責任は負わない。
(7) 競技会場の駐車スペースが限られているので、できる限り公共交通機関を利用すること。
(8) 個人情報の取り扱いについて
(ア) 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはありません。
(イ) 出場認知証明書(様式2)の提出により、上記(ア)の取扱いに承諾を得たものとみなし、名前・学校名・学年・記録の紹介や掲示板での掲載、また本大会が認めた報道機関にも公表します。入賞者に対しては取材を受けることもあります。
(ウ) 本大会が認めた報道機関が撮影した写真等が、新聞・雑誌等で公表されることもあります。
(エ) 本大会が認めた報道機関の撮影した画像等が中継・録画放映されることもあります。
(9) Jアラートが発令された場合は、競技を中断する場合があります。

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

競技規則TR5.2、TR5.5、TR5.13.3に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、フィールド競技用シューズについてはTR5.5の適用を除外する。

2. 練習について

(1) 練習の時間帯は下記の通り。

	本 競 技 場	補 助 競 技 場
9月16日(木)	13:00～17:00	13:00～17:00
17日(金)	7:30～8:40	7:30～17:00
18日(土)	7:30～9:00	7:30～17:00
19日(日)	7:30～9:00	7:30～15:00

(2) 本競技場での練習において、芝生内は全面立ち入り禁止。補助競技場は練習を行ってもよいが、芝生内でのスパイクシューズの使用は禁止する。

(3) 本競技場での練習は、トラック種目・跳躍種目とする。補助競技場を含め競技場備え付けの用具を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止する。補助競技場芝生内のみミニハードル等の使用を認める。

(4) 16日(木)の本競技場内での棒高跳の練習は、男子13:00～・女子15:00～とする。

(5) 投てき練習(メディスンボール等を含む)は、競技場内外問わず一切禁止する。(4日間とも)

(6) 本競技場・補助競技場内とも危険防止のため日傘の使用を禁止する。(4日間とも)

(7) 練習会場では事前に注意事項を確認するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3. 招集について

(1) 招集所は、下記の通りに設ける。

- ・一次招集 - 本競技場正面入り口前左側
- ・二次招集 - メインスタンド下室内練習場

(2) 種目別の招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内に持ち込まないこと。

(4) 手順

① 一次招集時にアスリートビブス、競技で使用するシューズの確認を受けることで一次招集完了とする。なお、フィールド競技の出場者は「フィールド競技用シューズ申告書」(プログラム巻末に綴込み)を競技者係に提出すること。

② 二次招集開始時刻には招集所内に待機し、競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカードを受け取り両腰のやや後方につけること。(4×100mRは第4走者のみ、4×400mRは第2・3・4走者がつける)その際、アスリートビブスの確認も受ける。

③ 点呼の代理人は認めない。但し、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の第一招集時に本人が競技者係へ多種目同時出場届(プログラム巻末に綴込み)を提出し、併せて招集を受けることができない種目の二次招集を受け、腰ナンバーを受け取っておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。

(5) 一次招集及び二次招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。

(6) リレー種目

① オーダー用紙は、競技者係(一次招集所)で配布するので取りに来ること。各ラウンド(予選・準決勝・決勝)とともに、1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係(一次招集所)に提出すること。なお、オーダー用紙の提出がない場合は、出場する意志がないものとみなし処理する。

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。但し、他種目に出場している場合は、上記(4)②に準ずる。

③ ユニフォームは、同型・同色を原則とする。

(7) 男子5000m・3000mSC・5000m競歩と、女子3000m・5000m競歩は別ビブスを使用する。

- (8) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の誘導に従うこと。
- (9) 止むなく欠場する場合は、招集開始時刻までに、欠場届（プログラム巻末に綴込み）に必要な事項を記入し、競技者係（一次招集所）に提出すること。

4. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

- ① トラック競技の予選のレーン順、および跳躍競技の予選、投てき競技の決勝の試技順はすべてプログラム記載の順番とする。なお、準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、メインスタンド外掲示板（一次招集所付近）、場内スクリーン及びアスリートランキングで発表する。
- ② トラック競技における次のラウンドへの進出者について
 - (ア) $(+\alpha)$ を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100 単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000 秒単位で優劣の判定をする。
 - ・レーンに余裕がある場合・・・同タイム（1/1000 秒単位）の選手の進出を認める。
 - ・レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。
 - (イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、 $+\alpha$ での進出者数を減らす。
 - (ウ) 800mとオープン・レーンを使用する種目は、同タイム（1/1000 秒単位）の競技者は全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

- ① 当該種目出場者以外は競技エリア内に立ち入ることができない。
- ② スパイクのピンの本数は11本以内とし、長さは9mm以内のものを使用すること。但し、走高跳・やり投については12mm以内とする。また、先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。
- ③ アスリートビブスは配布された大きさのままユニフォームの胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでもよい。
- ④ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ⑤ 4×100mのマーカ―は、主催者が準備し、競技前に二次招集所で競技者係が洒布する。競技終了後、必ず自チームのマークは前走者が取り除くこと。
- ⑥ フィールド競技において、コーチの競技者に対する助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。
- ⑦ 競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見ることや、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。
- ⑧ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

- (3) 男女5000m競歩は競技運営上の理由により、下記のタイムを超えて周回を残している場合はフィニッシュ地点で競技を中止させる。

男子5000m競歩 30分 女子5000m競歩 35分

- (4) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

男子 走高跳	1年	1m70・1m85（練）	（競）1m75-1m80-1m83・・・	以後 3cmずつ上げる
	2年	1m75・1m90（練）	（競）1m80-1m83-1m86・・・	以後 3cmずつ上げる
女子 走高跳	1年	1m44・1m56（練）	（競）1m47-1m50-1m53・・・	以後 3cmずつ上げる
	2年	1m47・1m59（練）	（競）1m50-1m53-1m56・・・	以後 3cmずつ上げる
男子 棒高跳	1年	3m20・4m00（練）	（競）3m40-3m60-3m80-3m90・・・	以後10cmずつ上げる
	2年	3m60・4m40（練）	（競）3m60-3m80-4m00-4m10・・・	以後10cmずつ上げる
女子 棒高跳	1年	2m20・2m80（練）	（競）2m30-2m40-2m50-2m60・・・	以後10cmずつ上げる
	2年	2m30・3m30（練）	（競）2m40-2m50-2m60-2m70・・・	以後10cmずつ上げる

*公式練習の高さについては選手の実力に応じて追加することがある。

* 1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

(5) フィールド競技の試技時間は次の通りである。

単独種目

残っている競技者	走高跳	棒高跳	その他
4人以上 *1	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技 *2	2分	3分	2分

*1 4人以上または各競技者の最初の競技

*2 走高跳・棒高跳では残っている競技者が2人以上で、同一の高さの時のみ適用

5. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の90分前～60分前までとし、100mスタート側の用器具庫で行う。

6. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）から、所定の手続きをとるものとする。

7. 表彰について

- (1) 決勝終了後、優勝者（リレーは4名）は種目表彰を行うので、成績発表後直ちに受賞者席（メインスタンド下中央ロビー）に集合すること。2・3位の入賞者（リレーは6位まで）は賞状をメインスタンド下中央ロビーに取りに来ること。
- (2) 表彰式では以下の表彰を行うので当該校（者）は必ず参加すること。
 - ① 総合3位までに入賞した学校（男子総合、女子総合、学年別男子総合、学年別女子総合）
 - ② 男女各学年の優秀競技者
 - ③ 男女各総合優勝校の顧問・監督

8. その他

- (1) 競技場の開門は、3日間とも7時30分とする。
- (2) 記録は、場内スクリーン及びアスリートランキングで発表する。

(3) テント・シートによる控え場所確保について

① 利用可能期間及び時間は下記の通りとする。

	競技場内	競技場外
9月16日（木）	13:00～17:00	12:00～17:00
17日（金）	7:30～17:45	7:00～17:45
18日（土）	7:30～18:15	7:00～18:15
19日（日）	7:30～15:30	7:00～15:30

② 事前に各府県に割り振られた場所を使用し、指定されている範囲を越えての場所取りを禁止するが、テント設営については周辺の学校同士で話し合い、通路を確保した上で、密にならない間隔を取ること。使用可能場所は以下の通りとする。

【競技場内】

- ・メインスタンド裏コンコース
- ・バックスタンド中段通路より上の座席
- ・サイドスタンド中段通路より上の座席

【競技場外】

- ・ 第2曲走路外側石畳
 - ・ 主競技場～補助競技場間の雑木林内
 - ・ 補助競技場と野球場間スペース
- ③ メインスタンド裏コンコースは、シートのみとし、テントの設置は禁止する。
 - ④ 競技場内に設営しているテント、シート等は毎日撤去し、持ち帰るか小さくまとめてその場所に置いて帰ってもよいが、盗難・破損等の責任は負わない
 - ⑤ 競技場外でテントを設置する際は、樹木等へ固定用のロープを掛けないこと。また、テント・シート等は毎日撤去し、持ち帰るか、競技場内メインスタンド裏コンコースの各府県で割り振られた場所に置いて帰ってもよいが、盗難・破損等の責任は負わない。
 - ⑥ 補助競技場での場所取りは禁止する。
 - ⑦ テント等の設置については養生テープを使用し、ガムテープは絶対に使用しないこと。
 - ⑧ メインスタンドのメディア席は、各府県監督席とするので監督以外は立ち入らないこと。
- (4) 横断幕の設置について
- ① 横断幕は各府県で割り当てられた場所に設置すること。(兵庫13校分/大阪12校分/滋賀・奈良・和歌山・京都11校分) 大会期間中設置したままでもよいが、養生テープか紐を使用し、飛ばないようにすること。
 - ② バックスタンドの手すり幅はおおよそ4.7mのため、その長さ以上の横断幕は折り込んで設置すること。
 - ③ メインスタンドのロイヤルボックスは、各府県監督席とするので監督以外は立ち入らないこと。
- (5) 感染防止に配慮し、声を出しての応援や、集団での応援は禁止すること。(特にフィールド競技への一斉応援はトラック競技のスタート直前は慎むこと。)
 - (6) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。(盗難、置き引き防止のため)
 - (7) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
 - (8) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミは各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のごみ箱等には絶対放置しないこと。(競技場内にごみ箱はありません)
 - (9) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、競技役員の指示する通路に従って移動すること。また、通行禁止や使用禁止の表示のある場合は、厳守すること。
 - (10) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。
 - (11) ポールの保管場所はメインスタンド下1階北側通路に設ける。